

KSKQ **パオバブネットワーク通信**

VOL 23

**ホーム（東風）が完成
しました！！**



通用口から見た
ホーム「東風」



正面から見た
ホーム「東風」

ともに地域で いきいきと生きることの実現を



交流活動

えるでは、今年も地域のフェスタと松原高校の文化祭に参加させていただきました。

法人の理念の中にある「障がいのある人もない人も地域で共に生きる」にこだわり活動してきました。

地域の方と共に楽しみ、メンバーの笑顔もたくさん見ることが出来ました。



2中フェスタ

4中フェスタ



7中フェスタ

職場体験

えるでは、地域の学生さん達が職場体験に来られ、メンバーとふれあい共に活動に参加していただいています。

こうした活動を通じて、新たな「経験」や「出会い」を感じられる場を、これからも作っていかと思います。

職場体験日程

松原中央小 (10/30) 松原4中 (10/30.31)

松原2中 (11/8) 天美南小 (11/11)

松原7中 (11/14.15) 松原中 (12/5.6)



クラフト作業
(レザー・さをり)



デイ活動
(クリスマス飾り)

地域交流や学生さんとの出会いの中で、メンバーの笑顔や「ありがとう」「楽しかった」の素直な気持ちを聞くことができ、また、学生さん達からも感謝の言葉をいただくことが出来ました。

お互いにとって、かけがえのない大切な時間を過ごせたと思います。

今後も、地域との絆を深め様々な活動に取り組めます。





松原第五中学校 1 年生の交流

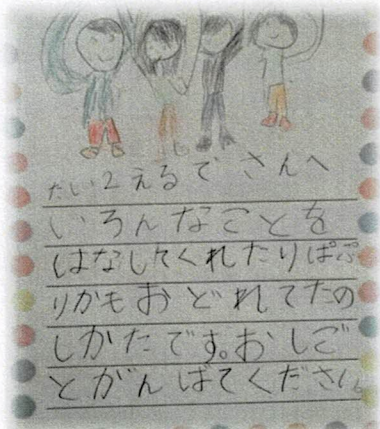
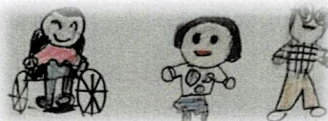


松原第五中学校 2 年生の職業体験

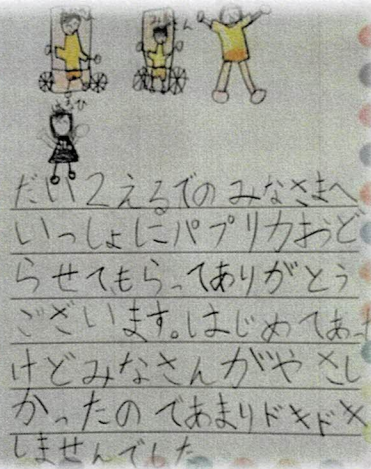
松原第五中学校の 2 年生の職業体験・1 年生の交流・
布忍小学校 3 年生の見学・恵我小学校 1 年生の交流
とたくさんの小中学校から、第 2 えるでに来てくれ
ました。



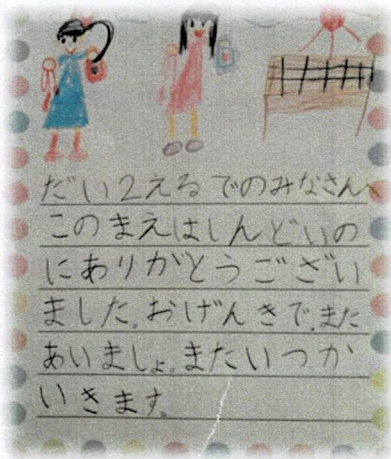
恵我小学校 1 年生の交流・感想



布忍小学校 3 年生の見学



つるかめさんの誕生日会に伺いました



一泊旅行in南紀白浜



総勢76名の大宴会や、アドベンチャーワールド、
とれとれ市場での買い物を、みんなで楽しみました



とれとれ市場で買い物
を楽しみました



夜は、みんなで宴会！
カラオケも歌いました



初めて旅行にボランティアで参加してもらった
濱野 萌々子さんから感想を頂きました。



えるでー泊旅行 ボランティアの感想

メンバーさん達の普段とはまた違った一面を沢山見られたことや、
楽しそうにはしゃいでいた皆さんのお手伝いが少しでも出来たことが嬉しく、
参加して本当に良かったと感じています。
和自身も2日間とても楽しかったので、是非来年も参加したいです！
濱野 萌々子



法人本部コーナー

11月25日（月）、84回社会福祉法人バオバブ福祉会理事会が開催されました。このコーナーでは、論議された内容を紹介し、重度化の対する指針、給与規程・経理規程改定の報告と今後の法人活動のあり方を検討していきたいと考えます。

84回の主な議案は、1，グループ東風建設計画の追加支出について 2，給与各是正に向けて、給与規程の変更 3，社会福祉法人経理規程に基づく改訂について 4，メンバーの高齢化・障がいの重度化に対応する法人内の「指針」の確定 5，35周年行事に向けての5点でした。

1について

道路建設道路部分の地盤改良と外構設計（テラスの追加）変更のため、追加工事費請求について承認をしました。

2について

法人の給与検討委員会等で指摘されていた職員給与格差の是正のために、法人給与規程を次のように、改正し、また、サービス責任者・主任の職務手当を増額しました。

旧	新
(給与の改定) 第4条 法人は、業績および職員の1年間の業務実績を評価し、原則として毎年4月1日を基準に、給与の改定を行う。給与改定は、昇給、降給、現状維持のいずれかとする。	第4条 法人は、業績および職員の1年間の業務実績を評価し、原則として毎年4月1日を基準に、給与の改定を行う。給与改定は、昇給、降給、現状維持のいずれかとする。 ただし、最低賃金等の改正や給与格差が著しく生じた場合は理事会の承認後、特別に昇給を実施する。（特別昇給）

サービス責任者・主任の職務手当を現行10,000円から20,000円に増額しました。この結果、若年層（中途採用を含）職員の昇給がはかられ、賃金格差をやや解消できました。

3について

古かった経理規程を社会福祉法人経理規程にそった適切な形に改め、規程における役職を変更・及び承認をいただいた。

4について

新ホーム「東風」が完成して、本法人としては新たなホーム建設は予定されていない。法人としては、ホームの支援体制を充実させること、メンバーの高齢化に伴う、障がいの重度化に対応することに全力を注ぐことを職員全体で確認している。

今後は、メンバーの「終の住処」として機能、地域で一生を終え、仲間に葬送される場としての機能、医療機関と連携して「看取り」をめざすグループホームに変わっていかねればなりません。

そのためにも、阪南中央病院・黒岡医院をはじめとする医療機関との一層の連携と緊急事態に即応できる職員連携体制を確保していきたいと考えています。

下にかかげる「グループホームにおける重度化対応に関する指針」を策定し、今後更に充実していきたいと考えます。

グループホームにおける重度化対応に関する指針

1. 本法人のホームにおける重度化対応に関する考え方

重度化された場合の対応にあたっては、支援方法、治療等についてご本人（以下メンバーさんと表記）の意思ならびにご家族（以下ファミリーと表記）の意向を最大限に尊重して行わなければなりません。対応する上で、メンバーさんと法人職員との間で話し合いを行い、相互に同意された内容については確認をとりながら、多職種協働によりメンバーおよびそのファミリーへの継続的支援を図ります。

また、重度化された場合における対応に定められた内容を遂行するため、医療機関等との連携およびチームケアを推進することにより取り組みを行います。

（１）環境の変化の影響を受けやすい利用者が、「その人らしい」生活を送ることができるよう、尊厳ある生活を保ち、「生活の質」が最高のものとして実現できる支援（ケア）に努めます。

（２）できる限りホームにおいての生活が継続できるよう、日常的に健康管理には留意し、万が一医療的ニーズが発生した場合には適切な対応がとれるよう、医療機関との連携を図ります。

2. 重度化対応の体制

（１）医療との連携体制

重度化に伴う医療ニーズに応えるため、協力医療機関とともに、即応出来る連携体制を確保します。

① 看護職員の体制

看護職員は、グループホームに配置、勤務する者です。内容はメンバーさんに対する日常的な健康管理、通常時および急性期における医療機関等との連絡・調整等です。

② 急性期における医師や医療機関との連携体制

協力医療機関の確保および、24時間の体制により連携体制をとります。

<協力医療機関>

医療機関名	社会医療法人阪南医療福祉センター 阪南中央病院		
診療科名	内科、外科、整形外科、小児科、眼科、皮膚科、放射線科		
所在地	〒580-0023 大阪府松原市南新町3丁目3番28号		
電話番号	072-333-2100	FAX番号	072-335-2005

医療機関名	医療法人黒岡会 黒岡診療所		
診療科名	内科、消化器内科、肛門科、外科、リハビリテーション科		
所在地	〒580-0003 大阪府松原市一津屋1丁目21-25		
電話番号	072-330-5272	FAX番号	072-330-5690

<連携事業所>

事業所名	地域生活サポートセンターいこな			
所在地	〒580-0023 大阪府松原市南新町3丁目8番23号			
連絡先①	電話番号	072-335-5561	FAX番号	072-332-0995
	(月～金、8:30～17:30)			
連絡先②	電話番号	080-5702-3633		
	上記の時間帯以外の24時間、365日			

事業所名	第2えるで			
所在地	〒580-0023 大阪府松原市南新町3丁目1番14号			
連絡先①	電話番号	072-349-8611	FAX番号	072-349-8612
	(月～金、8:30～17:30)			
連絡先②	電話番号	090-1584-0087		
	上記の時間帯以外の24時間、365日			

（２）多職種協働によるチームケアの体制

各職種の専門性に基づくアプローチから、チームケアを行うことを基本とし、それぞれの果たすべき役割に責任をもって対応します。

① 重度化に伴う支援計画の作成

重度化しても「その人らしい」生活を送ることができるように、生活支援ニーズの変化に応じて支援（ケア）計画を作成し、メンバー・ファミリーとともに生活支援の目標を定めます。

② 支援（ケア）計画に沿った支援の実施

メンバー・ファミリーとともに作成したケア計画に基づき、一人ひとりの心身の状態に応じた、適切な支援の提供に努めます。

③ ファミリー・地域との連携

ファミリーおよび地域住民とのネットワークの支えにより、重度化しても尊厳ある生活を保ち、「生活の質」が維持できるよう家族・地域との連携に努めます。

３．重度化対応に関する各職種の役割

（管理者）

- ・ 支援（看取り介護含む）の総括責任者の任命
- ・ 職員への指針の徹底
- ・ 職員に対する教育・研修

（看護職員）

- ・ 主治医または協力病院との連携
- ・ 重度化に伴い起こりうる処置への対応
- ・ 疼痛の緩和
- ・ 緊急時の対応
- ・ 定期的なカンファレンスへの参加
- ・ 心身の状態のチェックと経過の記録

（計画作成担当者）

- ・ 継続的なファミリー支援
- ・ 他職種とのチームケアの確立
- ・ 定期的なカンファレンスへの参加
- ・ 緊急時の対応

（日中・夜間支援職員）

- ・ きめ細やかな食事、排泄、清潔保持の提供
- ・ 身体的、精神的緩和ケア
- ・ コミュニケーション
- ・ 心身の状態のチェックと経過の記録
- ・ 定期的なカンファレンスへの参加

４．看取り支援（介護）への対応

メンバーおよびファミリーとの話し合いや意思の確認をし、当事業所で看取り支援（介護）を実施する場合は、連携医療機関とともにその受入の可否を含めて検討し、体制を整えこれに対応します。

５．職員に対する教育・研修

メンバーの重度化に対応するための支援技術、専門知識の習得を目的とし、支援の質の向上を目指し教育、研修を実施します。そのため、施設内の研修会開催や外部研修会の積極的参加を推進します。

- ① 重度化に伴う支援（ケア）の知識と技術
- ② 重度化に伴い起こり得る機能的・精神的変化への対応
- ③ チームケアの充実
- ④ 看取り介護に関する対応
- ⑤ 重度化対応ケアの振り返り（検証）

「バオバブの家結成35周年記念行事」のご案内

冬の足音に思わず首をすくめるころとなりましたが、みなさまにはお変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、私たちバオバブ福社会の前身である「松原バオバブの家」は、6月に結成され35周年を迎えました。

この35年間、「障がいのある人もない人もいきいきと生きれる松原に」をスローガンに、障がい者の生活拠点づくりに努めてまいりました。

本年12月に、グループホーム「東風(こち)」を開所し、生活介護2か所(えるで・第2えるで)、グループホーム4か所(空・風・ひとつ星・東風)を運営する社会福祉法人に成長することができました。

これもみなさま方のご指導、ご支援の賜物と心から感謝したしております。

つきましては、下記のとおり、標記「結成35周年記念行事」を開催いたします。公私ご多忙の折、まことに恐縮ではございますが、ご来臨下さいますようにご案内申し上げます。

2019年12月吉日

主催 35周年記念行事実行委員会

委員長 松井 育人

社会福祉法人バオバブ福社会

理事長 房本 晃

記

日 時 2020年 2月11日(火・祝日)
10:00~12:30

会 場 松原市文化会館 ホール

当日の予定

9:30	受付開始
10:00	第1部開演
	・オープニング
	えるでメンバーと大学生ボランティアによる コラボパフォーマンス
	・主催者あいさつ ご来賓あいさつ
	・関係者表彰
11:00	第2部開演
	・映画「道草」上映(約90分)
12:30	第2部終了

※後日、正式な案内状を送付させていただきます。

後援会コーナー

後援会への入会ありがとうございました。

12月3日現在で、個人加入者が349名、団体加入が8件です。入会いただき誠にありがとうございました。会費は、フェスタ等の地域活動や市民まつりの出店等、諸活動に使わせていただいています。詳細は、年度末の決算時に報告させていただきます。



秋の地域活動のボランティア、ありがとうございました。

10月26日、27日の松高祭や11月2日から始まった中学校区フェスタ、柴垣バザーの地域活動に、のべ39人の後援会員やのべ31人のファミリーの皆さん、そして、えるでスタッフの皆さんが参加し、メンバーさんと共に、いか焼きやえるで製品を販売したり、レザー体験やプラバンの体験も行いました。レザークラフトは、たくさんの地域の子どもたちが体験し、いか焼きは、長蛇の列ができるほどの盛況ぶりでした。好天にも恵まれ、皆さんの力で無事終えることができました。ありがとうございました。

いか焼きを販売していた時のお客さんの声です。

いつも美味しいな
あと思い買いに来ま
した。ありがとうございます。
ございます。

どのようにして焼いて
おられるのですか？

まず、生地を敷いて、その上にいかを載せ、
最後に卵を真ん中に載せます。この鉄パンを
かぶせます。まあ、1分ほどでできます

ああ、そうですか。この鉄パン、凄いですね。

これがあれば良く焼けますね。」

後援会事務所が下記に変わりました。

〒580-0023松原市南新町3-8-23 (ホーム東風の2階)

tel 072-332-0999

これがホーム東風 2 階内部です！



事務所建物全体

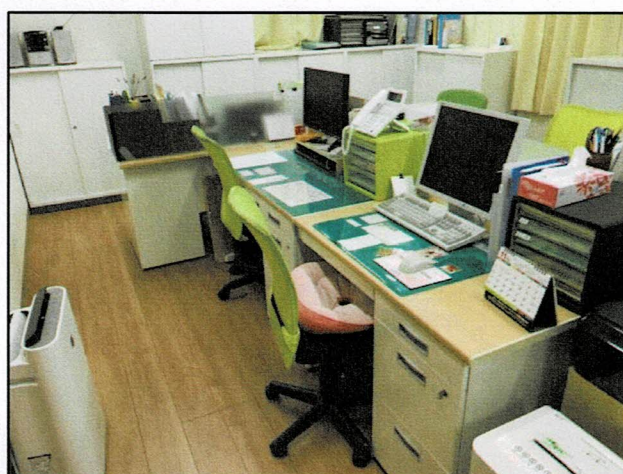


ここから2階事務所に入ります。

事務所職員出入口(南西側)



えるでヘルパーステーション



地域生活サポートセンターいこな



相談室

編集後記

○ バオバブネットワーク通信VOL23をお届けします。

○ 12月1日、グループホーム「東風（こち）」の開所にこぎ着けました。

11月末完成をめざして、順調に工事が進み、8月8日には上棟、20日工事の中間検査が予定されています。その後は、防火設備等・内装工事等を経て、関係機関の諸検査を経て、11月22日「いこな」「ヘルパーステーション」の移転作業で完成となりました。計画を策定し始めて約2年、土地買収を完了して、1年・・・やっとなんかここまで来たと思えます。理事会一同ホットしています。ここまでたどり着けたのも、皆様のご支援の賜物だと改めて感謝・感謝！！

○ 建設資金寄付金も、ホーム東風関係だけでも目標金額の800万円を越え、過去の寄付金も2000万円を超えました。本当に有難うございました。当面、法人としての施設建設の予定がないので、寄付金募集を停止したいと考えています。

○ 本年は、「松原バオバブの家」発足35周年を迎えます。節目の年に、法人・ファミリー・後援会が一致して35周年周年行事を持つことが決定されました。今後、行事内容は実行委員会で検討・決定されますが、映画「道草」の上映運動と連携することだけは決定されています。この映画は重度の知的障がい者の一人暮らしを支える仕組みを取り上げたドキュメンタリー映画です。「障がい者の自立＝自分で好きに生きること」の重要性を問いかける映画です。

○ 35周年行事において、私たちがめざす地域で一生を終えること＝「終いの住みか」としての「グループホーム」の在り方を考える契機になればと思います。行事が単なる「式典」に終わるのではなく、今後のバオバブ福祉会の課題を「全員で確認する場にしていけたら。」と願っています。

○ 今後、更なるご支援ご協力をお願いいたします。

(文責F)

KSKQ (バオバブネットワーク通信VOL23) 2019年 12月 16日発行

定価100円

編集人 社会福祉法人バオバブ福祉会 編集責任者 房本 晃

連絡先 〒580-0044 松原市田井城6丁目328番地2

でんわ072-332-0987 FAX072-331-8200

発行人 関西障害者定期刊行物協会

〒543-0015 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4階

でんわ&FAX06-6763-3338

一九九一年九月三日

第三種郵便物承認

毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行